

2030年までの主なスポーツ関連の動き

| | |
|---------------|---|
| 2023年 (予定) | <p>○第19回アジア競技大会（杭州）、第4回アジアパラ競技大会の開催（予定）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2022年に開催予定であった第19回アジア競技大会（杭州）・第4回アジアパラ競技大会は、延期が決定（開催時期未定）。 ・カバディやセバタクロウなど、アジア特有の競技も実施される。 <p>○休日の部活動の段階的な地域移行の開始</p> <ul style="list-style-type: none"> ・離島やへき地など環境整備が難しい地域を除き、2025年度末を目途に休日の部活動の段階的な地域移行化を推進。 |
| 2024年 | <p>○パリオリンピック・パラリンピック（夏季）の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2024年7月26日から8月11日までの17日間、フランス・パリにて夏季オリンピックが開催される。 ・東京オリンピックに引き続き、実施競技にスケートボード、スポーツクライミング、サーフィンは選出されるとともに、初めてブレイキンが選出される。 |
| 2025年 | <p>○愛知県新体育館の開業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2025年夏、名城公園北園に、世界最先端のスマートアリーナである愛知県新体育館を開業する。 ・建築面積は26,700㎡、延床面積は61,700㎡と現体育館の約3.5倍の規模となり、メインアリーナの最大収容人数は17,000人（立見含む）。 ・メインアリーナは「ハイブリッドオーバル型」で、各種スポーツから音楽イベント等まで、質の高い鑑賞体験を提供。 <div data-bbox="1435 472 1608 596" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="1608 536 1800 592" data-label="Caption"> <p>ハイブリッドオーバル型 (オーバル型+馬蹄型) のメインアリーナ</p> </div> <div data-bbox="1868 456 2136 612" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="1868 624 2136 643" data-label="Caption"> <p>バスケットボール試合イメージ</p> </div> |
| 2026年 | <p>○ミラノオリンピック・パラリンピック（冬季）の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2026年2月6日から2月22日までの17日間、イタリア・ミラノにて冬季オリンピックが開催される。 <p>○名古屋市瑞穂公園陸上競技場の新設</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2026年3月にアジア競技大会・アジアパラ競技大会のメイン会場となる瑞穂公園陸上競技場が竣工。 ・5階建て、延床面積約63,500㎡、約3万席の競技場となる。 <div data-bbox="1451 667 1771 871" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="1585 871 1771 890" data-label="Caption"> <p>©2021(株)瑞穂LOOP-PFI</p> </div> <p>○ワールドマスターズゲームズ関西の開催（見込）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2021年から延期されていた、生涯スポーツの国際大会「ワールドマスターズゲームズ」が開催される。 <div data-bbox="1823 667 2136 871" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="1957 871 2136 890" data-label="Caption"> <p>©フォート・キシモト</p> </div> <p>○第20回アジア競技大会・第5回アジアパラ競技大会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東京2020に次ぐ日本のスポーツ界の大きな目標となる、第20回アジア競技大会（9月）、第5回アジアパラ競技大会（10月）を愛知・名古屋で開催する。 ・アジア競技大会は40競技程度が実施される予定で、45の国と地域から選手・チーム役員が最大で15,000人、アジアパラ競技大会は18競技程度を想定し、44の国と地域（2022年3月末時点）から4,000人程度が参加する。 ・大会レガシーとして、ボランティアの育成、アジア地域との交流の促進などを掲げる。 <div data-bbox="1823 895 2136 1118" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="1823 1102 2136 1118" data-label="Caption"> <p>©Asian Paralympic Committee/Jakarta Post</p> </div> |
| 2027年 | <p>○アジア競技大会・アジアパラ競技大会選手村の後利用事業の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「多様な人々がつながり、共につくる次世代型のまちづくり“ウェルネス・アソシエーション”」をコンセプトとしたまちづくりを進める。 |
| 2028年 | <p>○ロサンゼルスオリンピック・パラリンピック（夏季）の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2028年7月21日から8月6日までの17日間、アメリカ・ロサンゼルスにて夏季オリンピックが開催される。 ・東京・パリオリンピックにおいては追加競技として実施されたスケートボード、スポーツクライミング、サーフィンは、正式な実施競技として選出される。 |
| その他 | <p>○SDGsの達成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・持続可能で、よりよい世界を目指す国際目標であるSDGsが、2030年に目標年を迎える。 <p>○リニア中央新幹線の開業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リニア中央新幹線の開業により、東京・名古屋間が約40分で結ばれる。首都圏と中京圏が一体化し、巨大な都市圏（リニア大交流圏）が誕生する。 <p>○中部国際空港の機能強化（第二滑走路の整備等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍後の訪日観光需要の拡大が期待される。 ・第二滑走路の整備により、滑走路処理容量が増加し、また空港の完全24時間運用が可能となり、運航発着回数の増加が見込まれる。 |